

製薬会社と  
医学部の間

こうして患者は「効かない」薬を飲まされる

ああ、恥ずかしい、誰にも言えない  
「セックスのクセ」告白します

安倍&アッキー「やらせ不仲説」を追う  
独占入手北朝鮮高官に一喝された「日朝秘密交渉」全内幕

韓流おばさんもオネエも夢中「ユヅくん」羽生結弦の魔性

被災地買取価格は「ハッ場ダム」の10分の1!



新謎の美女 祥子の事。

日本の恥  
NHKモミジヨイル独裁、極まれり  
ご注進  
朝日新聞の罪

週刊

2014 MAR. 3.14  
400yen

日米同盟は戦後最悪

キルアメリカ、ビビる日本!

最高の町医者  
最低の町医者

消費税5%「残り1か月で  
これだけはやっておきたい」

日経新聞  
「バラ色の日本経済」って本当?  
公開されたDVD25分が明かす「絞首刑の瞬間」

大メディアが黙殺した  
皇太子誕生日会見の「護憲のお言葉」

家の始末、それが大問題です

固定資産税、修繕代で高齢者ほど「持ち家ピンボ」になる▼マイホーム、賃貸、老人ホーム、どれが得か  
小さな家に住み替えるという選択▼地方移住、賃貸に出す方法▼相続税の最新事情▼絶対必要なリフォーム

シリーズ100歳まで生きて困らない「お金の教科書」



「大病院のキャリアが長い」「新薬を積極的に処方」「設備が充実」  
——意外や意外、これらは「危ない医者」の条件です!

# 「最高の町医者」 「最低の町医者」



「主治医制度」時代で  
あなたの寿命を  
左右する人々

名医といえば手術の腕が良く、良い病院といえば施設が充実しているもの——と思われがちだが、それはあくまで大病院の話。私たちが日常的にかかる「町医者」では、その先入観がアダとなるケースも多いのだ。最高の町医者に出会うための「条件」をお伝えしよう。

## 第一部 「最低の町医者」を 見抜く「フカ条」

### 大病院の選び方とは違う

週刊誌などで「いい病院、悪い病院の見分け方」や「日本の名医ランキング」といった特集が組まれることが増えた。全国の有名病院がランキングされたり、「神の手」を持つカリスマ医師が紹介されたりするのだが、それらの特集では見逃されているジャンルがある。「町医者」だ。  
「メディアでは大病院ばかりが目立っていますが、多くの人にとって本当に大事なものは「町医者」の選び方です」  
と話すのは、『実はすごい町医者の見つけ方』（講談社刊）の著者で、医療現場に詳しい長浜、バイオ大学バイオサイエンス学部教授の永田宏氏（医療情報学）だ。「がんや脳梗塞、心筋梗塞といった重篤な病気の手術や治療をするのは確かに大病院の医師ですが、多くの場合、そうした病気の可能性を最初に発見するのは、患者さんがふだんからかかっている地元の診療所の医

師、いわゆる町医者です。逆に言えば、町医者が高確かな「目」を持っているかどうか重要なのです。  
また、今は大きな病気をしても急性期を脱したらなるべく早く退院させられるので、退院後に世話になる地元の町医者が必要になっています。  
入院のためのベッドが19床以下を「診療所」といい（それ以上が「病院」）、そこで働く開業医が、一般的に町医者と呼ばれている。  
この4月から実施される診療報酬の改定も、町医者の重要性を高める。改定のポイントのひとつは、診療所や中小病院が複数の慢性疾患を抱える患者を継続的に診察することに対して新たに報酬（月額1万5030円）が支払われるようになることだが、それは日常的

に患者を診察する「主治医」の普及を促すことが目的だ。先進国の中には、町医者为主治医となることを制度化している国もある。例えば、フランスがそのひとつ。病院で出生した瞬間から町医者が子供のかかりつけ医になり、ある年齢に達した段階で親を診ているのと同じ町医者がかかりつけ医になる。  
前出・永田氏が話す。「日本でも、欧州諸国のように主治医の重要性は、今後ますます大きくなる。にもかかわらず、単に家から近いか、親の代から世話になっているといった理由で町医者を選ぶのは間違いです」  
重要なのは、大病院やその医師の選び方とは異なる、町医者には町医者の選び方がある、ということだ。

### 専門性は逆にマイナス

町医者の判断次第が、生死に関わる例は多い。  
Aさんは70歳の時、不整脈のために循環器内科医の



切れが激しくなり、少し動いただけで「ハーハー」と息をつくようになった。医師は「年齢とともに心臓も弱ってくる、年だから仕方ない」というだけで、詳しい検査もしないまま。だが、78歳のときに重い肺炎になり大病院に入院したところ、僧房弁閉鎖不全症（心臓病）だと分かった。町医者が患者を抱え込み、心臓手術の機会を逃していた。「発見がもう少し早ければ手術もできたそうだが……」



スタッフの対応も重要な要素

かかりつけの先生はいい人でしたが、外科手術に消極的で、知識もなかったようだ。父は闘病の末、80歳で亡くなりました（Aさんの息子）  
残念ながら、町医者選びを誤った実例である。このような悪夢を避けるために、こんな町医者は要注意という「最低の町医者」を見抜くための7つの視点を紹介する。もちろん、ひとつでも当てはまるからといって「最低の町医者」というわけではないが、見極める際の参考にはなる。

①大病院でのキャリアが長すぎる  
長年大病院に勤務し、先端医療を経験し、症状の重い患者を数多く診てきた医師ほど病気が治療法に詳しく、信頼できる。実はその考え方は、「大病院信仰」の弊害だ。「大病院、特に大学病院に長く勤務

した医師の場合、特定の病気については極めて高い専門性を身につけていますが、実はそれ以外については詳しくないことが多いのです。例えば、ひと口に整形外科医と言っても、大病院の場合、手の専門医、足の専門医、腰の専門医に分かれ、大学病院になるとさらに右手の専門医と左手の専門医がいます。あまりに細かく専門に分かれているので、手の専門医は足を骨折した患者を診たがらない、とペテランの整形外科医が嘆いていました（前出・永田氏）  
最低10年ほど大病院で働けば、ひと通りの経験は積めるという。大病院の医師としてのあまりに長い経験は、逆に開業医になった場合にはマイナスの要素になりかねないのだ。

②1人の医者で診療科目が4つ以上  
専門が特殊なものに限られるのも困りものだが、逆に手広く広げ過ぎて問題なケースもある。  
雑居ビルに位置する医者1人の小さな診療所にもか

かわらず、表の看板には「内科・消化器科・整形外科・耳鼻科・皮膚科」などと、いくつもの診療科目がずらりと並んでいるところも多い。どんな病気でも対処してくれるから、有り難い？ いや、さにあらずだ。「病院や医師の数が少ない地方ならばともかく、大きな都市にあって、医師1人でやたらと多くの診療科目を掲げている診療所は避けよう方がいいでしょう。十分な知識がないのに、患者

③問診せずに病名を断定する  
特に高齢の患者や鬱病の患者の場合、要領の得ないことを堂々巡りで医師に訴えることが多い。それに耳を傾けることを面倒くさがり、診察前のアンケートの回答を読んだだけで診察が始まるとすぐに、「あなたは鬱です」と断定し、薬を処方する医師もいる。しかし、「それでは病気が治らない」と言うのは、医学ミ

### 悪性リンパ腫を見逃された

ステリーや医学実用書などの著作を数多く持つ作家で、米山医院院長の米山公啓氏。「例えば、鬱の8割は薬を飲めば治ります。しかし、診察のときに医師がきちんと『あなたはこういう状態です。それを治すにはこの薬をこれだけの期間飲む必要があります』と説明しないと、患者さんは『私は鬱じゃない』とか『この薬は効かない』などと勝手に判断して、薬を飲まなかった

り、飲むのを途中でやめてしまったりする。雑談に依るぐらい患者さんの話を聞いてくれる医者を選ぶべきです」

50歳になるBさんは、扁桃腺が腫れて、飲み込むと痛みが出る症状が続いたため、近くの耳鼻科を専門とする町医者を受診した。医師は即座に「単なる扁桃炎」と診断して、消炎鎮痛剤や抗生剤などを処方。しかし、薬を飲んでもいっこうに症状はよくなりません。1週間後に再受診し、よくなりませんと訴えたが、医師は「様子を見ましょう」といって、

### 「新薬に積極的」は危ない

④6種類以上の薬を出す  
新薬を積極的に処方してくれる医師ほど最新の医療情報を熱心に収集しているし、患者のことをよく考えてくれている——というのも素人の誤解だ。「新薬と言っても、多くの場合、今までなかったまったく新しい作用があるわけではなく、従来の薬と効果

同じ薬を出しただけだったその後1か月たっても、症状はよくなりません。より肥大したように感じた。  
なんとなく不安を覚えたBさんは知人の紹介で大学病院を受診。検査の結果、悪性リンパ腫と診断された。この病気の初期の症状のひとつに、扁桃腺が急に肥大することを、後で知った。耳鼻科ではよく知られていることだという。  
「幸い治ったものの、もし手遅れになっていたらと思うと、最初の町医者の不勉強さに怒りが込み上げてきました」（Bさん）

ほぼ同じで、副作用が若干少なくなった、という程度です。なのに、やたらと新薬を処方したがるのであれば、目的は別のところにあります。新薬は薬価が高いので、病院で処方すれば儲かるからです（前出・米山氏）  
同様に、症状に応じて細かく薬を処方してくれる医

師も要注意だ。

かかりつけ医として患者の自宅で700人以上を看取ってきた長尾クリニック院長の長尾和宏氏が話す。「胃の症状に対して2種類、腰と膝の痛みに対して2種類、降圧剤を3種類、糖尿病用に3種類……といった具合に、ひとりの患者さんに対して10種類も15種類も『多剤投与』する医師がいますが、論外です。儲けるためだけでなく、患者さんの体を総合的に捉えることができず、部分、部分の症状に応じて処方するので、薬がどんどん増えていってしまうのです。患者さんにとって薬をたくさん飲んでいいことはひとつもありません。特に高齢者の場合、6種類以上の薬を飲んでいると、副作用でふらつきや転倒するなどのリスクが高まります」

⑤最新の医療機器が揃っている  
開業したてで最新の医療機器が揃っていると、どんな病気でも対処してくれそうだが、それも気をつけた

方がいい。

「開業の際に最新の医療機器を一気に買い揃えた町医者には注意が必要です。多額の投資をしたので、やらなくてもいい診察、検査によって回収しようとする可能性があるからです。超音波、内視鏡、CTなどはとくに効率が悪く、件数をこなさなければなりません。やたらと検査したがる医者は要注意です。開業医の本来の役割は精密検査が必要かどうかを判断し、必要なら大病院を紹介することです。仮に自分のところで検査できるとしても、例えば糖尿病患者の場合、普通は2か月に1回の血液検査で十分です。なのに、毎月やるような医者は、儲け主義を疑っていいでしょう」（前出・米山氏）

⑥行くたびにスタッフがかわる  
看護師や医療事務のスタッフが定着しないのは、一種の「ブラック企業」の可能性があり、と指摘するのは都内の医師会の幹部を務めるある開業医。

「スタッフがよく辞めていくとすれば、経営者である医師の人格に問題がある可能性があります。そういう医師が患者さんに誠実な対応をするとは思えません」  
⑦「都合により休診」する  
「その日になって突然『本日、都合により、休診します』といった張り紙をして休診する医者は要注意です。親族が危篤に陥ったとか不幸があつたという場合を別とすれば、医者本人の体調不良や二日酔いのケースがあるからです。そのように自己管理のできない医者にまともな診察はできないと思つた方がいいでしょう」（前出・医師会幹部の開業医）  
ちなみに、医師会の会合や研究会などがあって休診しなければならぬ場合は、何日も前から、理由も記して「〇月〇日は休診します」と張り紙をする。

志村喬が演じた黒澤明監督の『酔いどれ天使』のように、アルコールにおぼれる医者がいい医者というのは、残念ながら映画の中だけのようだ。

シリーズ累計 490万部突破! 薩摩の覚醒が歴史を動かした!

井沢元彦



逆説の日本史

幕末年代史編III 最新刊、発売中! 西郷隆盛と薩英戦争の謎

定価 本体1,600円+税 小学館



# 医師が語る「最高の町医者」の条件

以上のように、「最低な町医者」を見極める要素は多岐にわたる。逆に、「最高の町医者」であるかどうかを見極めるためにはどこに注目すればよく、どう判断すればいいか。

どのような医師が最高の町医者かは、患者それぞれで異なる。二一歳によって異なる。だが、少なくともそれを選ぶ条件を知っておくことは重要だ。

## 【診療所の建物】

前出・永田氏が話す。「開業医の場合、一戸建ての診療所かビル内の診療所かということは大きな意味を持ちます。ビル内の場合、医者は通うのに時間がかかると別の場所に住んでいると考えられますが、一戸建ての場合、診療所と自宅を兼ねていることが多く、時間外に突然、体調が悪くなった場合でもある程度対応してくれる可能性があります。

「50〜60代の経験豊富な医師と、大病院で最先端医療を経験してきたばかりの30〜40代の中堅医師の2人の組み合わせはいい。消化器系と循環器系の医者といったように、得意分野が異なる医者2人の組み合わせもお勧めです」(前出・矢端氏)

【待合室】  
「素人の患者さんでも、見ただけでいい医者かそうでないかを判断できるのが、待合室に空気清浄機や加湿器があるかどうかです」  
と、話すのは前出・永田氏。

「インフルエンザなどの感染症にかかっている患者さんや他の患者さんから隔離するような構造の待合室になっていることが理想ですが、そうした診療所はほとんどありません。しかし、

地域の役員を務めたり、地域の行事に参加したりして診療以外の場でも地域と付き合うので、人柄を判断しやすい利点もあります。また、一戸建ての場合、親の代から開業している場合が多く、先代が亡くなっても2代目、3代目が患者さんのカルテを引き継ぎ、それまでの症状や治療内容を把握してくれま

ちなみに、医師が亡くなり、その診療所を継ぐ医師がない場合、カルテは通常は自治体が引き取り、5年間保管するが、段ボールに入れられたままのことが多く、事実上、消滅するに等しいという。

仮に職住接近の町医者で、自分の携帯番号を患者に教え、緊急事態が起こったら連絡してもらおうようにしているも、完全な24時間対応は不可能。そこで、どういう工夫で補おうとしている

必要の場合、すぐ患者を紹介できる大病院のネットワークを持つていること」というポイントだ。東京女子医科大学消化器外科教授の喜多村陽一氏も、大病院の立場から次のように話す。「日常的な主治医として患者を診る開業医に求められるのは、目の前の患者さんが、緊急の治療を要する重篤な状態かどうか、もしそ

かが重要になる。大学病院、救急病院、人間ドックを経験してきたベテラン開業医である吉祥寺セントラルクリニック院長の矢端正克氏が話す。

「例えば、あらかじめ患者さんに大病院を紹介し、一度受診してもらえば、診療券とカルテができるので、救急搬送されたときなどスムーズに診察してもらえます。患者さんに自分の名刺を渡し、そこに患者さんの持病や連携している大病院の名前を書き、『万が一の場合、よろしくお願ひします』という一文を添えておく。それを財布などに入れて持ち歩くようにしてもらえば、万が一街中で倒れても、救急車が素早く対応してくれます」

町医者の限界を知ったうえで、それをどう補うかが、優れた町医者の条件だ。

【診療科目】  
先ほど、やたらと診療科目を多く掲げる医師は怪しい、といったが、ひと口に町医者といっても、掲げている診療科目は様々だ。という組み合わせの医者を

選ぶべきなのだろうか。前出・永田氏が話す。「日本人の病気のパターンはだいたい決まっています、年齢に応じて変化するので、理想的な組み合わせがいくつか考えられます。まず、子供の場合、風邪、喘息、下痢、アトピー性皮膚炎などにかかることが多いので、『小児科・アレルギー科』の組み合わせがベストです。20〜30代は病気がかかることがもともと少ない年代なので、『内科・消化器科』『内科・呼吸器科』といった組み合わせで十分。

【医師の年齢】  
大病院のときにだけ診てもらおう大病院の医師と違い、日常の主治医である町医者の場合、未永く、それこそ一生診てもらえることが理想だ。

## 年上の医者は選ぶな

「そう考えると、年上の医者は考えたほうがいい。医者の方が先に亡くなりかねませんし、亡くならないまでも高齢のために引退され

うならどの診療科を受診するべきか、といったことを的確に判断する能力です」

64歳のCさんは高血圧気味だったが、健康には自信があった。ある日、激しいめまいと頭痛で近くの医院を受診した。何年か前から何かあると受診するばかりの町医者だった。医師は症状を聞き、即座に「私の手には負えない」といっ

可成り、ケアマネジャーやホームヘルパー、訪問看護師との連携が必要だ。それは簡単なことではないので、町医者に看取ってもらいたいと思ったら、『おおよその数でいいので、最近1年間で何人看取ったか。それは在宅で診た患者さんの何%ぐらいですか』と質問するといでしょう。答えられない医者や、都合の悪いことを聞かれて怒り出す医者には看取りはできません」

「看取りには看取りのノウハウが必要。きちんと看取るためには医師だけでは不

40〜50代になると生活習慣病が気になってくるので、『内科・循環器科』『内科・消化器科』が基本で、ストレスの多い職業に就いていたり、ストレスを感じやすい性格の場合は『心療内科・内科・消化器科』『心療内科・神経科』を選ぶといいでしょう。更年期の女性は『婦人科・内科』がベスト。

60代以上の高齢者向けにお勧めなのが、さまざまな診療所が多く入ったクリニックビル。内科、整形外科、皮膚科、眼科があればベスト。内科で高血圧症と糖尿病を診てもらい、整形外科でヒザや足、皮膚科で湿疹、眼科で白内障を検査してもらおう。1日ですべてが終わるし、提携関係にあることが多いのです」

「かかりつけの先生の確かな判断と迅速な対応、『私の手には負えない』の一言で、私は救われた」(Cさん) 最高の町医者は必ずいる。

後遺症もほとんどない。「かかりつけの先生の確かな判断と迅速な対応、『私の手には負えない』の一言で、私は救われた」(Cさん) 最高の町医者は必ずいる。

【訂正とお詫び】  
2月7日号掲載「軍師官兵衛」は秀吉の「朝鮮出兵」をどう描くかの記事中、官兵衛が朝鮮に渡ったことを「渡鮮」としましたが、「朝鮮に渡った」とすべきでした。「鮮」は日本が朝鮮を植民地支配していた時に「朝鮮」を略して使った差別的な言葉であり、不適切な表現でした。お詫びして訂正します。

【訂正とお詫び】  
2月7日号掲載「軍師官兵衛」は秀吉の「朝鮮出兵」をどう描くかの記事中、官兵衛が朝鮮に渡ったことを「渡鮮」としましたが、「朝鮮に渡った」とすべきでした。「鮮」は日本が朝鮮を植民地支配していた時に「朝鮮」を略して使った差別的な言葉であり、不適切な表現でした。お詫びして訂正します。

『週刊ポスト』次号(3月21日号)は3月10日(月)発売です

一部地域で発売日が異なります